



第2章 長崎市のこどもと子育て家庭を取り巻く現状

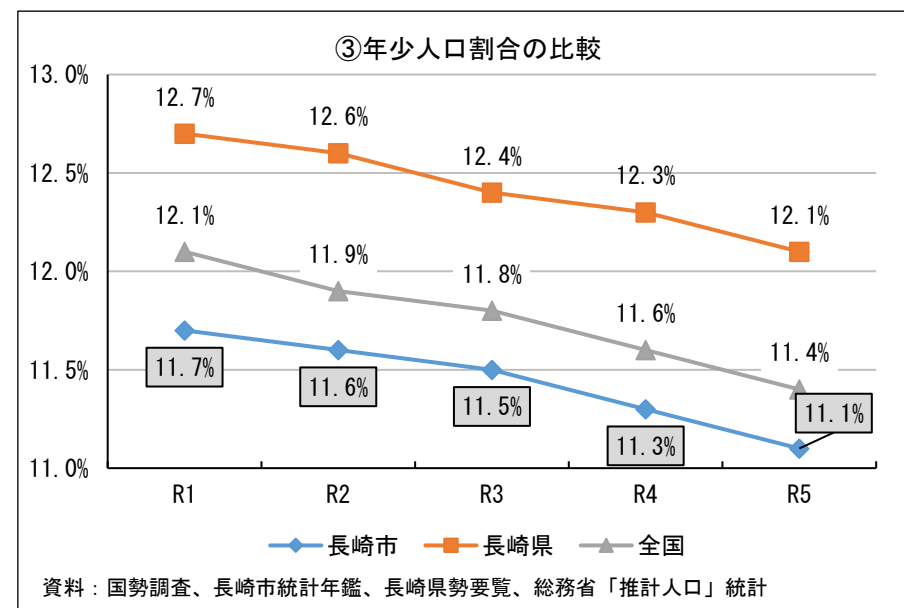
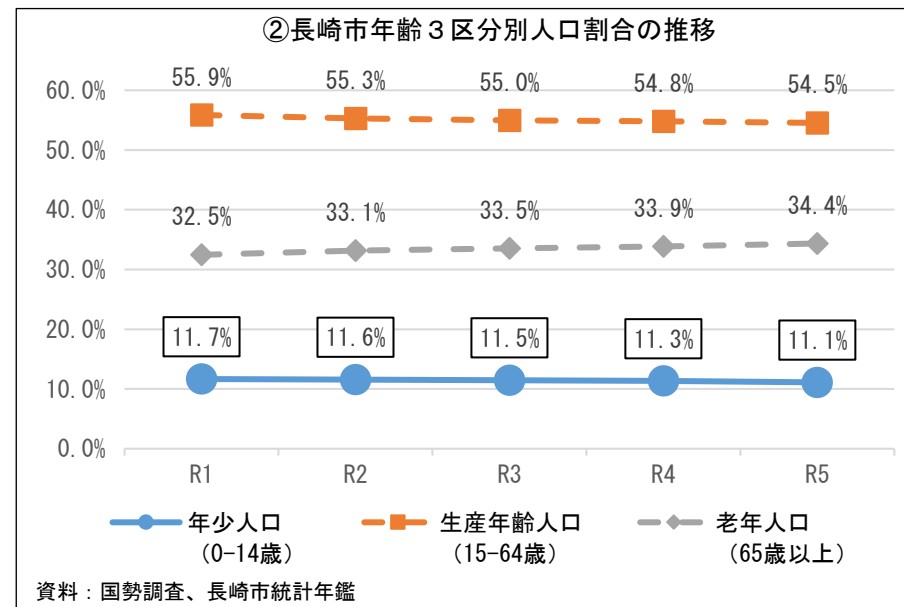
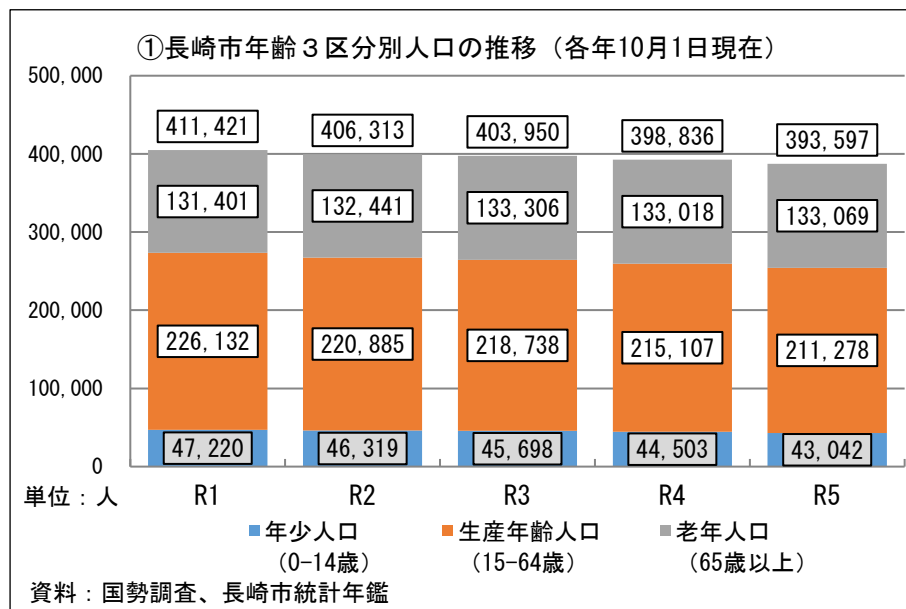
1 長崎市の人口等の動向

1) 人口の推移

(ア) 人口

本市の人口は年々減少傾向にあり、そのうち年少人口と生産年齢人口の減少が著しく、逆に、老年人口は増加傾向にあります。

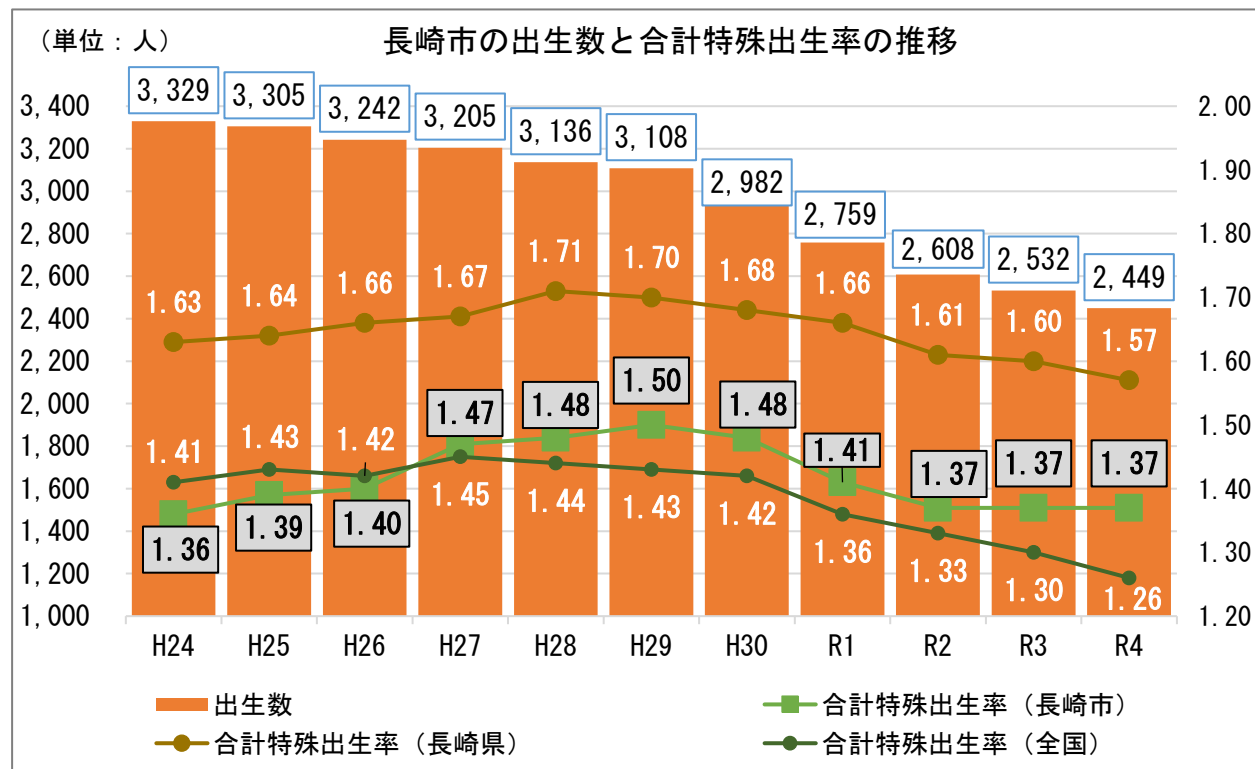
また、年少人口の割合は、全国と比較すると0.3ポイント程度低いですが、長崎県内で比較すると1ポイント程度低くなっています。



(イ) 出生数と合計特殊出生率

本市の出生数は減少傾向にあり、令和4年は2,449人と、10年前の平成24年から880人の減少となっています。

合計特殊出生率⁶は、平成24年の1.36から平成29年には1.50まで上昇しましたが、以降は減少に転じ令和2年以降は1.37となっています。また、平成27年以降全国平均を上回っているものの、いずれも県平均を下回った状態が続いています。



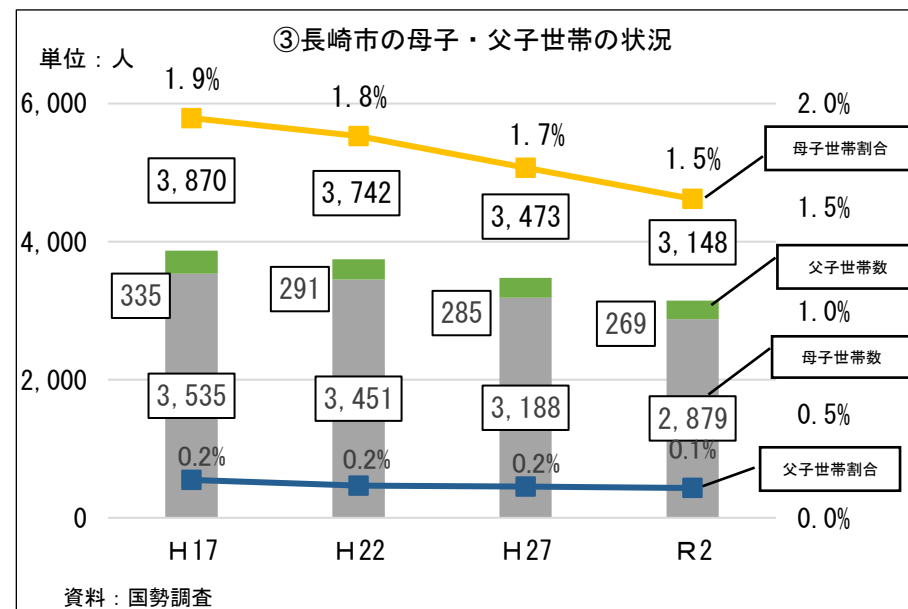
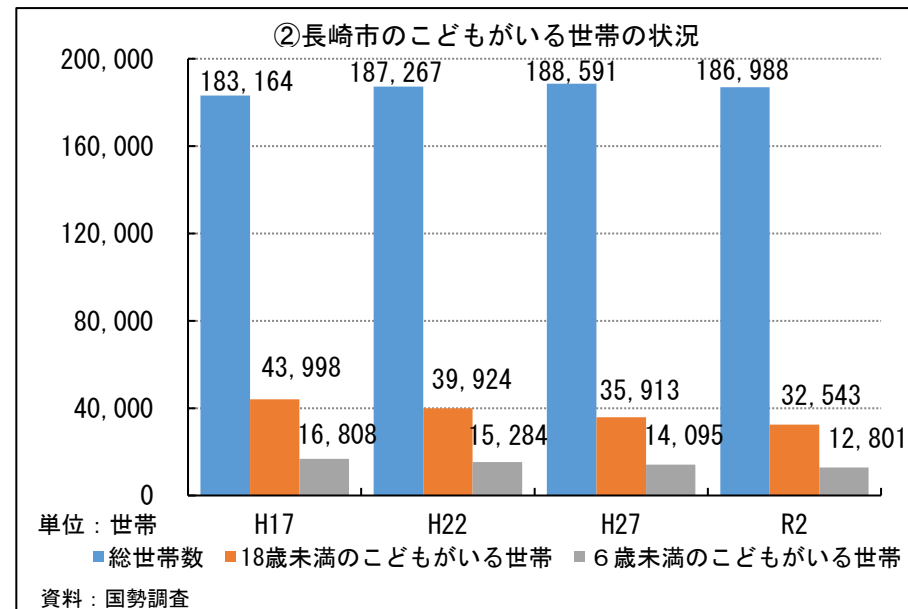
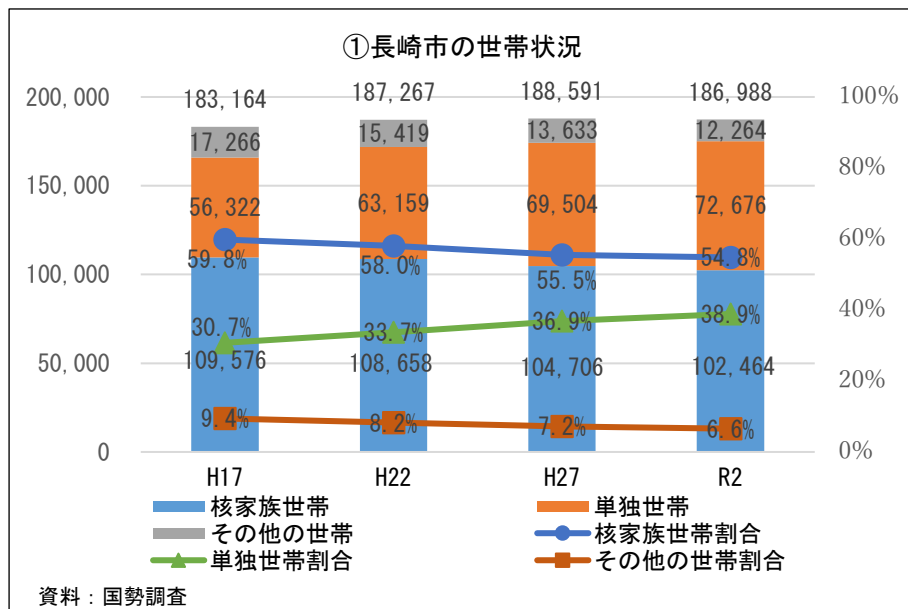
※ 出生数は、長崎市の保健行政（人口動態統計）の数 【住所地集計の数】

⁶ 合計特殊出生率：15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率と同じ確率で出産とした場合に、一生の間に生むと想定されるこどもの数に相当します。

(ウ) 世帯数

本市の世帯数は、核家族世帯は減少していますが、一方で単独世帯が増加しています。

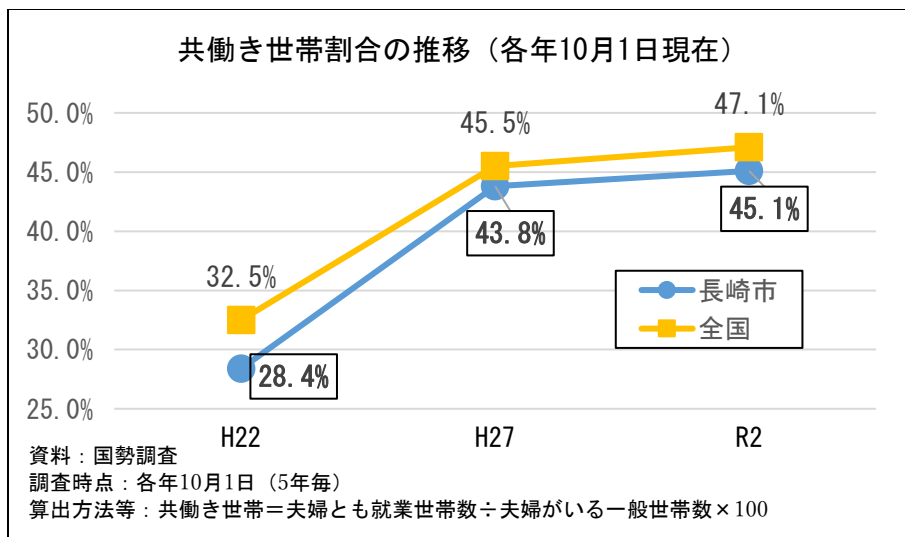
また、こどものいる世帯、母子世帯及び父子世帯は減少傾向にあります。母子世帯の減少率と比較すると父子世帯の減少率は、ほぼ横ばいとなっています。



2) こども・子育ての現状

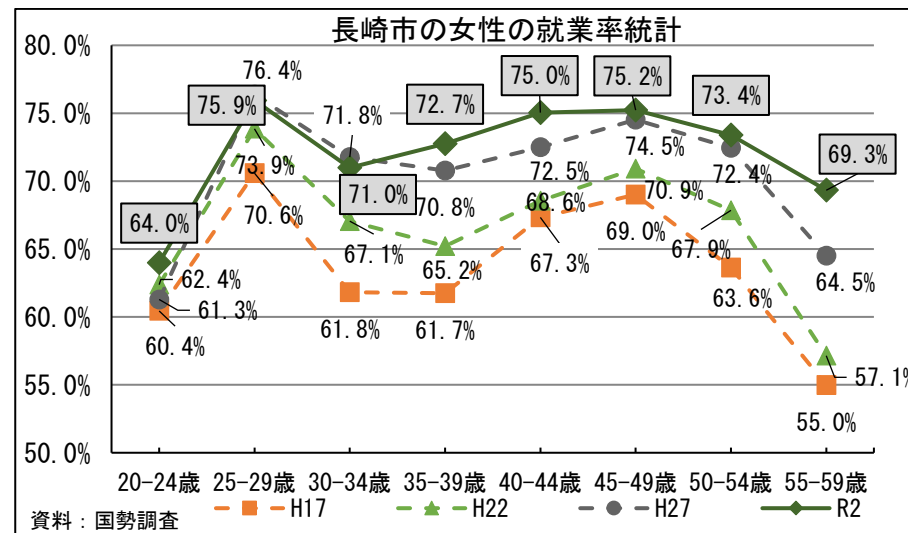
(ア) 子育てと仕事の両立

本市の共働き世帯は平成22年から平成27年の5年間で急激に増加し、その後、平成27年から令和2年の5年間も増加傾向にあります。全国と比較すると割合は低いですが、増加率は全国と類似の傾向にあります。



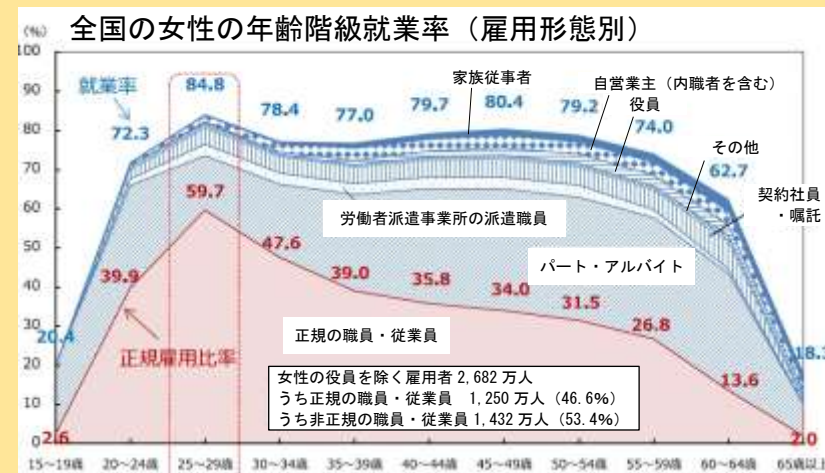
(イ) 長崎市の女性の就業率

本市の女性の就業率は上昇傾向にあり、全体的に M 字カーブを描いていますが、ゆるやかなカーブに変化しています。



(参考)

- ・年齢階級別の就業率は、35～39歳の77.0%を底に再び上昇しています。
- ・年齢階級別に女性の就業形態をみると、「正規の職員・従業員」は25～29歳が59.7%とピークになっています。その後、年齢が上昇していくにつれ、「パート・アルバイト」等の非正規雇用で働く者の割合が増加しています。（いわゆるL字カーブ）

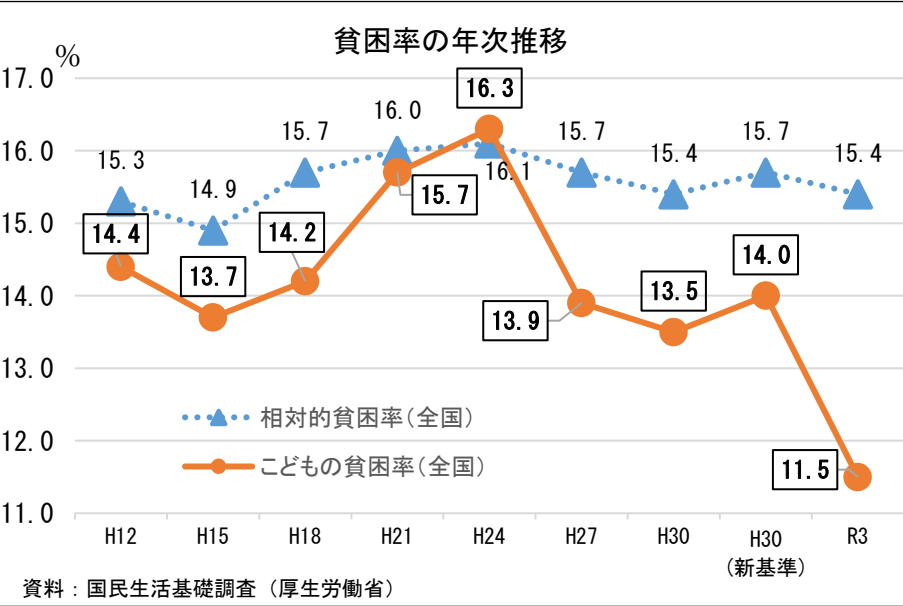


資料：総務省「令和4年労働力調査（基本集計）」

3) こどもの貧困の状況

(ア) 全国のこどもの貧困率

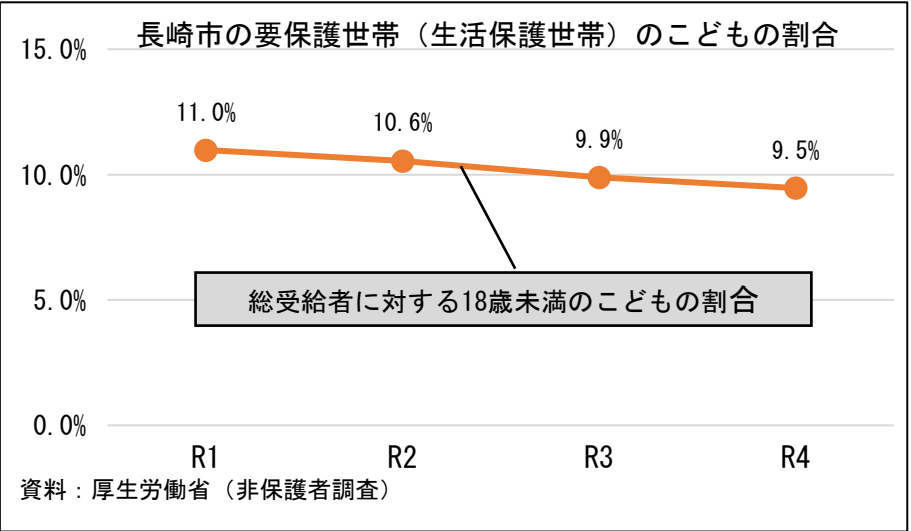
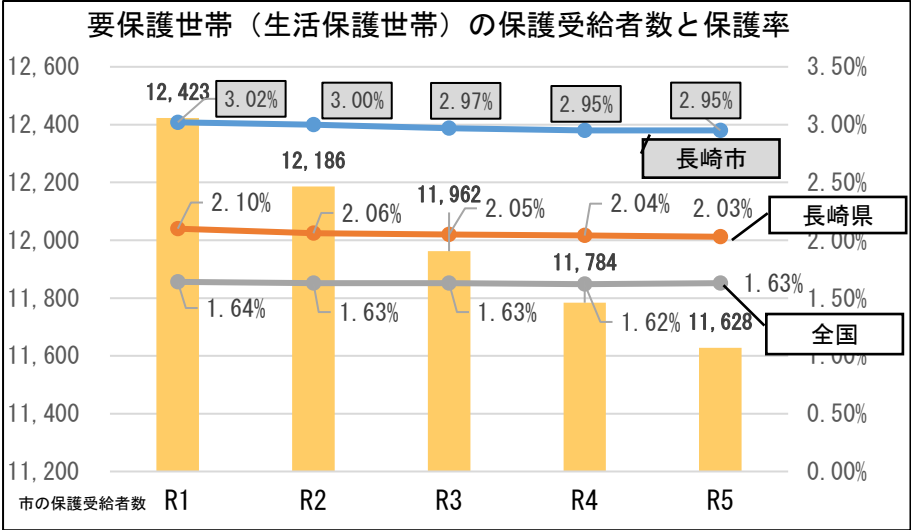
こどもの貧困率は平成 24 年をピークに平成 27 年までに大幅に低下しています。相対的貧困率は緩やかに増減を繰り返しています。



※こどもの貧困率…こどもがいる世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いた手取り収入）を世帯員数の平方根で割って調整した数値の中央値の 2 分の 1 未満の世帯の割合

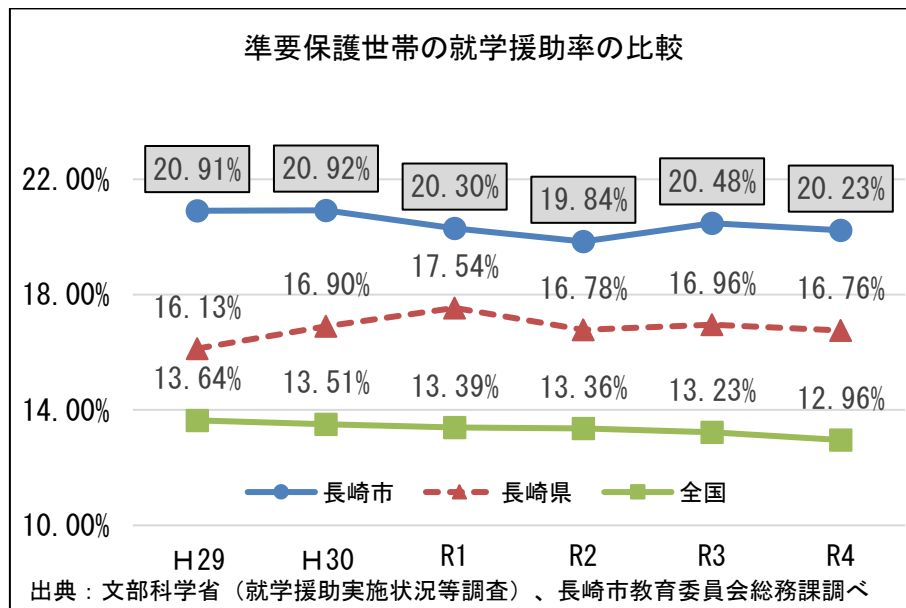
(イ) 要保護世帯等のこどもの現状

本市の生活保護率は、国や県を上回っていますが、生活保護の総受給世帯におけるこどもの割合は減少傾向にあります。



(ウ) 準要保護世帯のこどもの現状

本市の準要保護世帯⁷の就学援助率は、国や県を大きく上回っている状況が続いています。

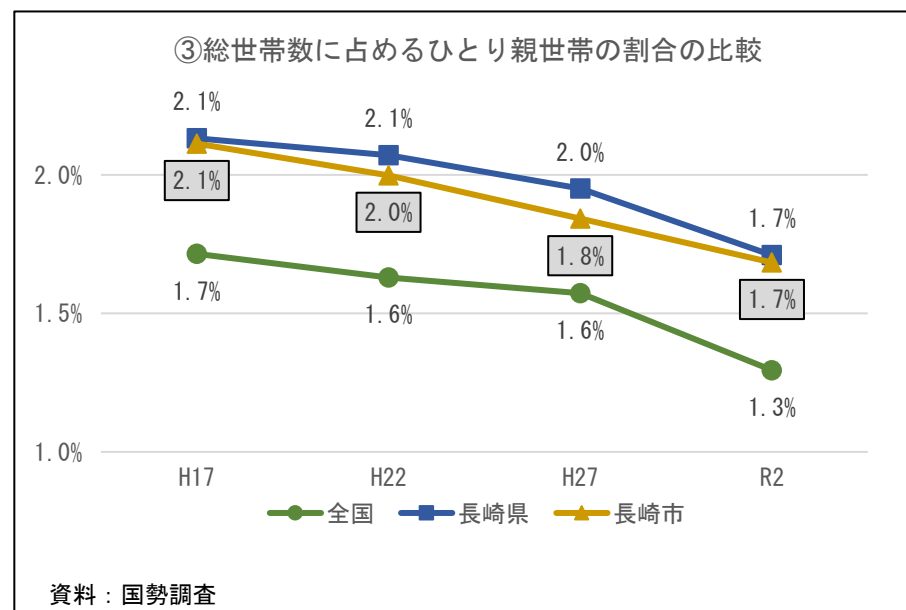
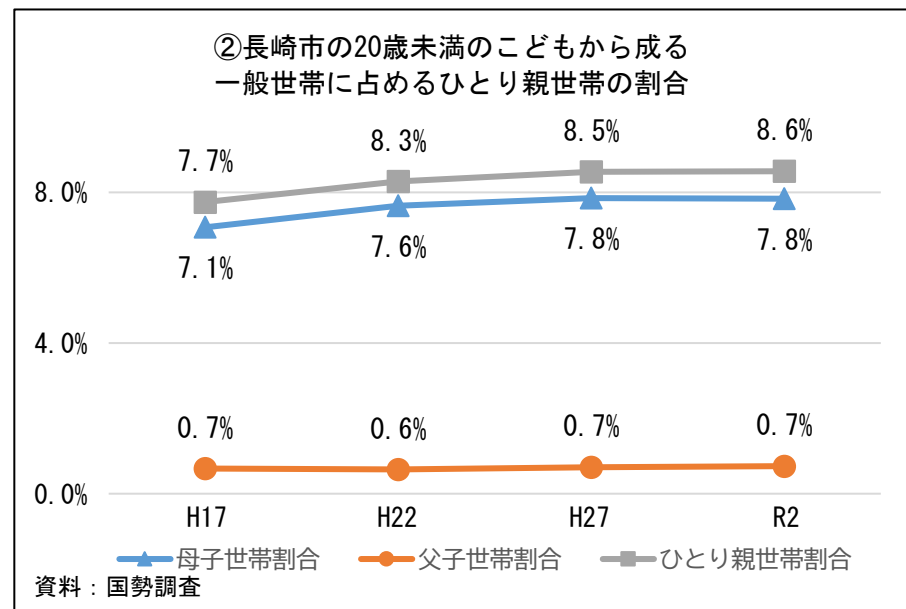
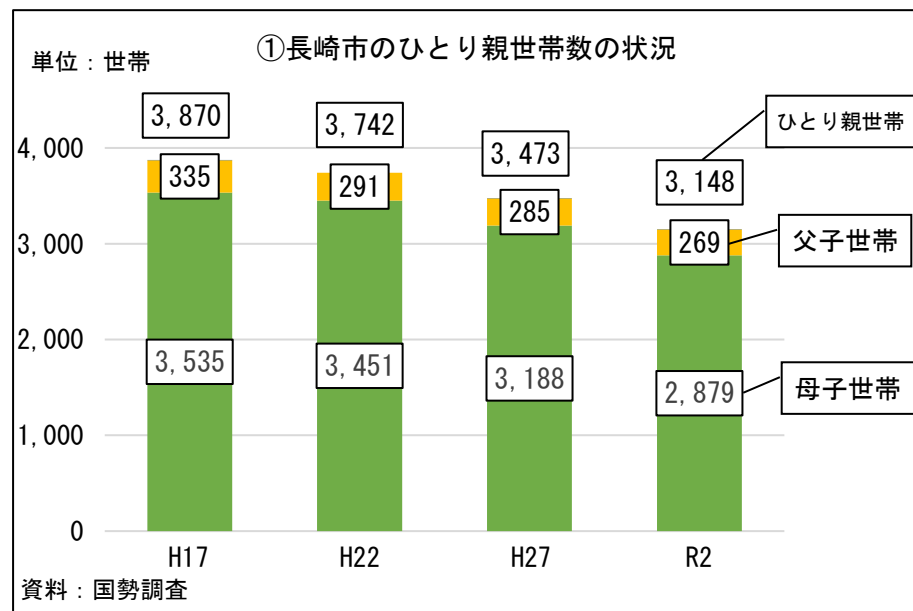


⁷ 準要保護世帯：市町村教育委員会が生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認める世帯で、長崎市においては生活保護受給世帯の所得の約1.2倍の所得がある世帯となっています。

(エ) 長崎市のひとり親世帯の現状

本市のひとり親世帯は、父子世帯及び母子世帯ともに減少傾向にあります。しかしながら、「20歳未満の子どもから成る一般世帯に占めるひとり親世帯の割合」については、母子世帯は上昇傾向にあり、父子世帯は横ばいとなっています。

また、本市の総世帯数に占めるひとり親世帯の割合は、全国と比較して高い割合となっています。



2 こども・子育てに関するアンケート調査結果

1) 第3期長崎市こども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査

実施時期 令和5年11月17日(金)～12月22日(金)

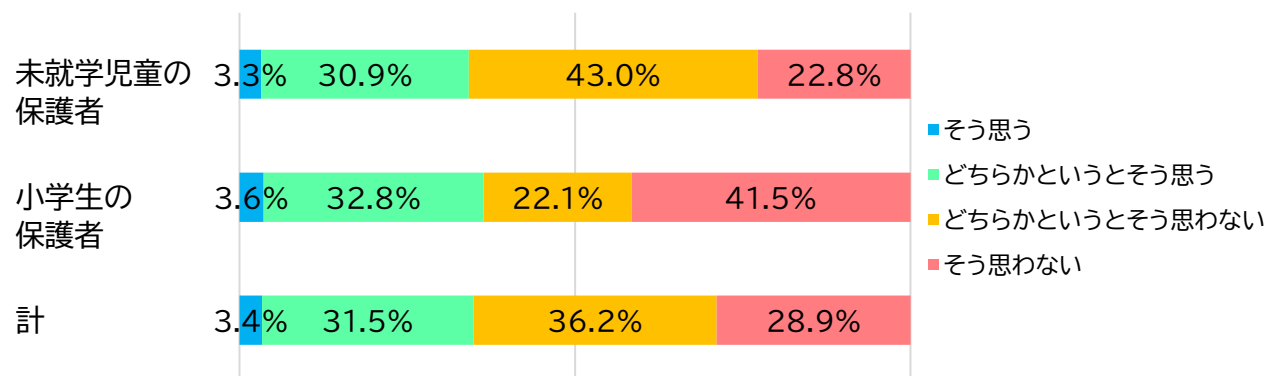
調査対象 市内在住の未就学児童・小学生の保護者

回答数 未就学児童の保護者 3,862件、小学生の保護者 1,867件 計 5,729件

(ア) 長崎市は「子育てしやすいまち」だと思いますか？

「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計は2,000件で、全体の34.9%となっています。

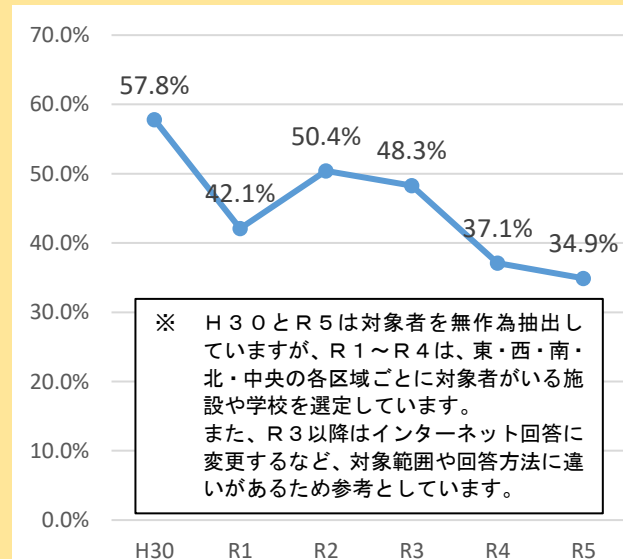
	未就学児童の保護者	小学生の保護者	計
そう思う	126件 (3.3%)	67件 (3.6%)	193件 (3.4%)
どちらかというと思う	1,195件 (30.9%)	612件 (32.8%)	1,807件 (31.5%)
どちらかというと思わない	1,662件 (43.0%)	413件 (22.1%)	2,075件 (36.2%)
そう思わない	879件 (22.8%)	775件 (41.5%)	1,654件 (28.9%)



(参考)

「『子育てしやすいまち』と思う」回答の推移

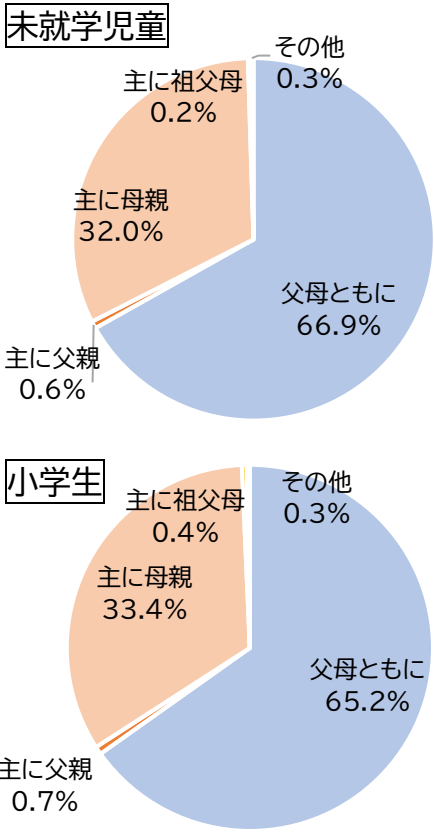
「子育てしやすいまち」と思うかという設問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」との回答は低下傾向にあります。



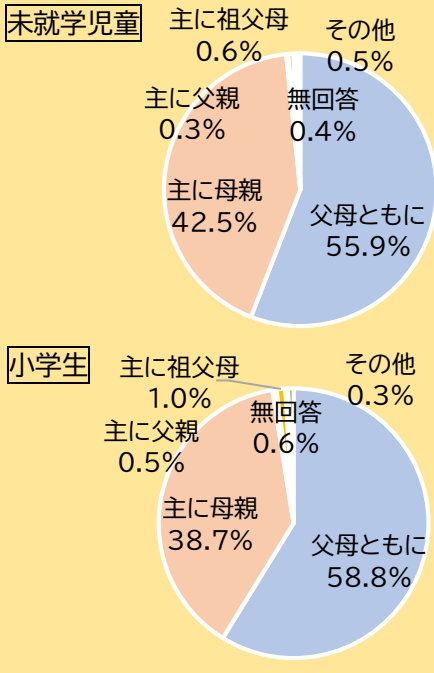
(イ) 子育てを主に行っている人・就労状況

未就学児童及び小学生の保護者いずれも主に子育てを行うのは「父母ともに」が66.9%、65.2%で最も多く、次いで「主に母親」が32.0%、33.4%と続いています。

なお、平成30年度と比較すると父母ともに子育てを行っている人の割合が未就学児童の保護者は11%、小学生の保護者は6.4%増えています。



(参考)
H30 の回答との比較
「父母ともに」の回答がいずれも増加しています。



(ウ) 保護者の就労状況

父親の就労状況は「フルタイムで働いている」が最も多く、約90%を占めています。

母親の就労状況は「フルタイムで働いている」が最も多く、約40%を占めており、次いで「パート・アルバイト等で働いている」が30%～40%弱、「以前は働いていたが、現在は仕事をしていない」が20%前後となっています。

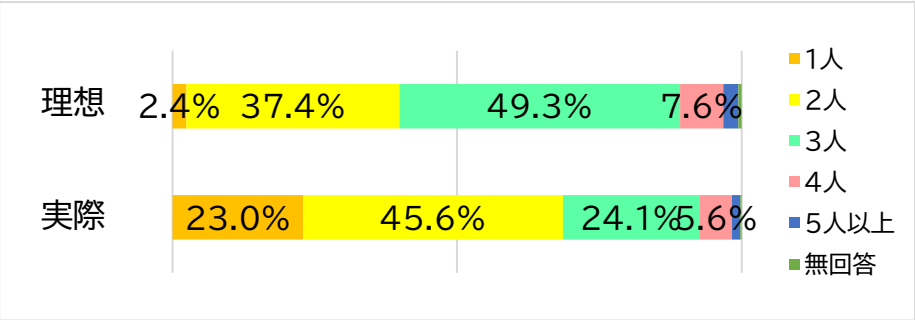
	未就学児童				小学生			
	父親		母親		父親		母親	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
フルタイムで働いている	3,573	92.5	1,496	38.7	1,650	88.4	753	40.3
フルタイムだが、現在、育休・介護休業中	19	0.5	357	9.2	2	0.1	20	1.1
パート・アルバイト等で働いている	33	0.9	1,034	26.8	12	0.6	707	37.9
パート・アルバイト等だが、現在、育休・介護休業中	2	0.1	96	2.5	1	0.1	13	0.7
以前は働いていたが、現在は仕事をしていない	33	0.9	816	21.1	16	0.9	328	17.6
これまで仕事をすることがない	0	0.0	17	0.4	2	0.1	23	1.2
無回答	202	5.2	46	1.2	184	9.9	23	1.2
計	3,862	100	3,862	100	1,867	100	1,867	100

(エ) 理想のこどもの数と実際のこどもの数

未就学児童の保護者

理想とするこどもの数は「3人」が49.3%で最も多く、次いで「2人」が37.4%、「4人」が7.6%と続いています。また、実際のこどもの数は「2人」が45.6%で最も多く、次いで「3人」が24.1%、「1人」が23.0%と続いています。

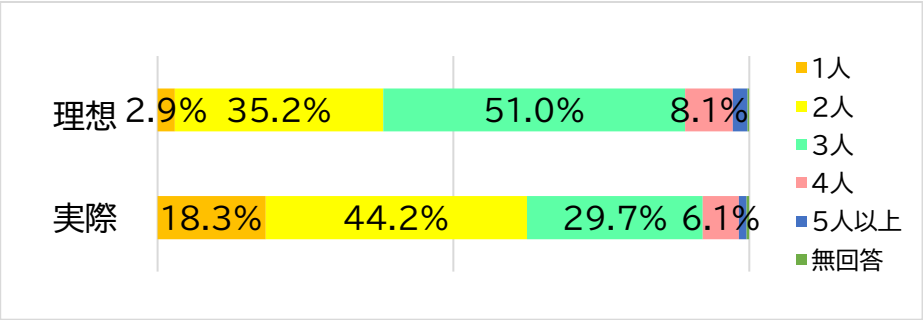
	理想の数		実際の数	
	件数	割合	件数	割合
1人	94	2.4%	887	23.0%
2人	1,446	37.4%	1,761	45.6%
3人	1,904	49.3%	931	24.1%
4人	293	7.6%	216	5.6%
5人以上	103	2.7%	57	1.5%
無回答	22	0.6%	10	0.2%
計	3,862	100%	3,862	100%



小学生の保護者

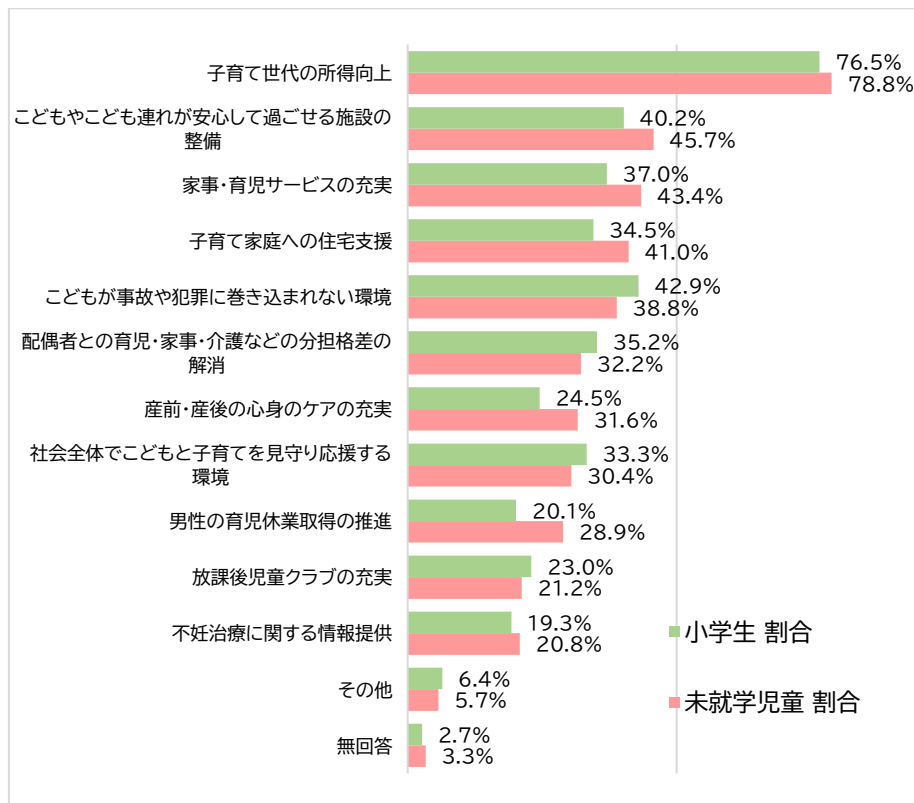
理想とするこどもの数は「3人」が51.0%で最も多く、次いで「2人」が35.2%、「4人」が8.1%と続いています。また、実際のこどもの数は「2人」が44.2%で最も多く、次いで「3人」が29.7%、「1人」が18.3%と続いています。

	理想の数		実際の数	
	件数	割合	件数	割合
1人	54	2.9%	341	18.3%
2人	658	35.2%	825	44.2%
3人	952	51.0%	554	29.7%
4人	151	8.1%	114	6.1%
5人以上	46	2.5%	24	1.3%
無回答	6	0.3%	9	0.5%
計	1,867	100%	1,867	100%



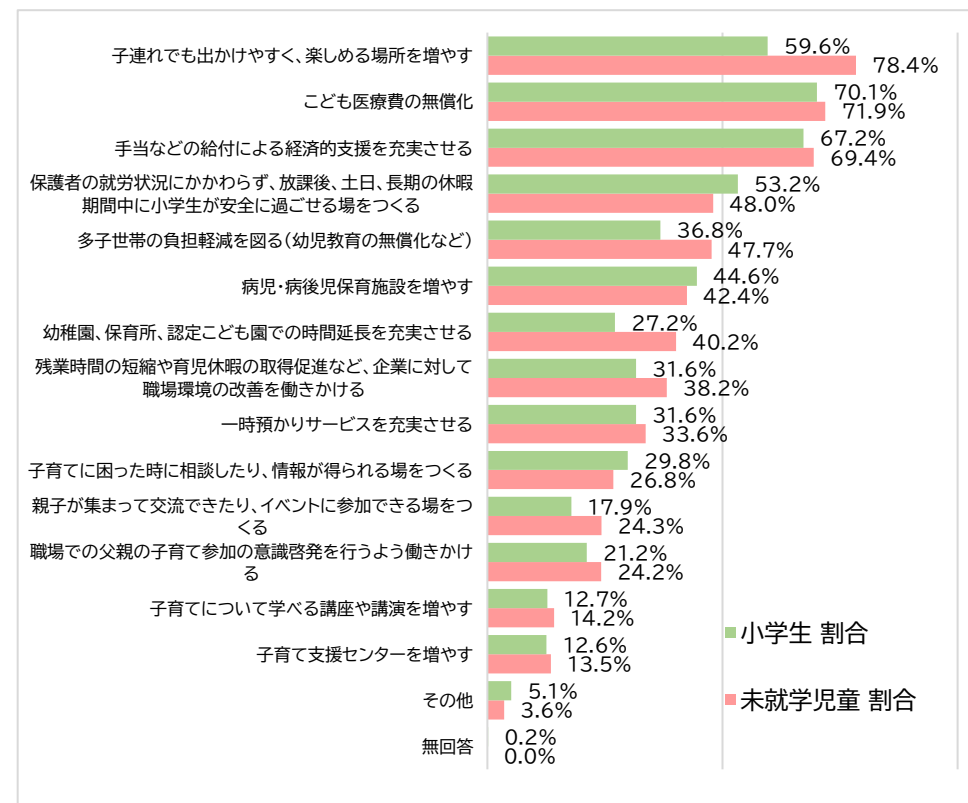
(オ) 理想とするこどもの数を実現するために必要なこと

未就学児童及び小学生の保護者いずれも、理想とすることものの数を実現するためには、「子育て世代の所得向上」が78.8%、76.5%と最も多く、未就学児童の保護者は次いで「こどもやこども連れが安心して過ごせる施設の整備」が45.7%、「家事・育児サービス」が43.4%と続き、小学生の保護者は次いで「こどもが事故や犯罪に巻き込まれない環境」が42.9%、「こどもやこども連れが安心して過ごせる施設の整備」が40.2%と続いています。



(カ) 理想とする子育て支援に必要なこと

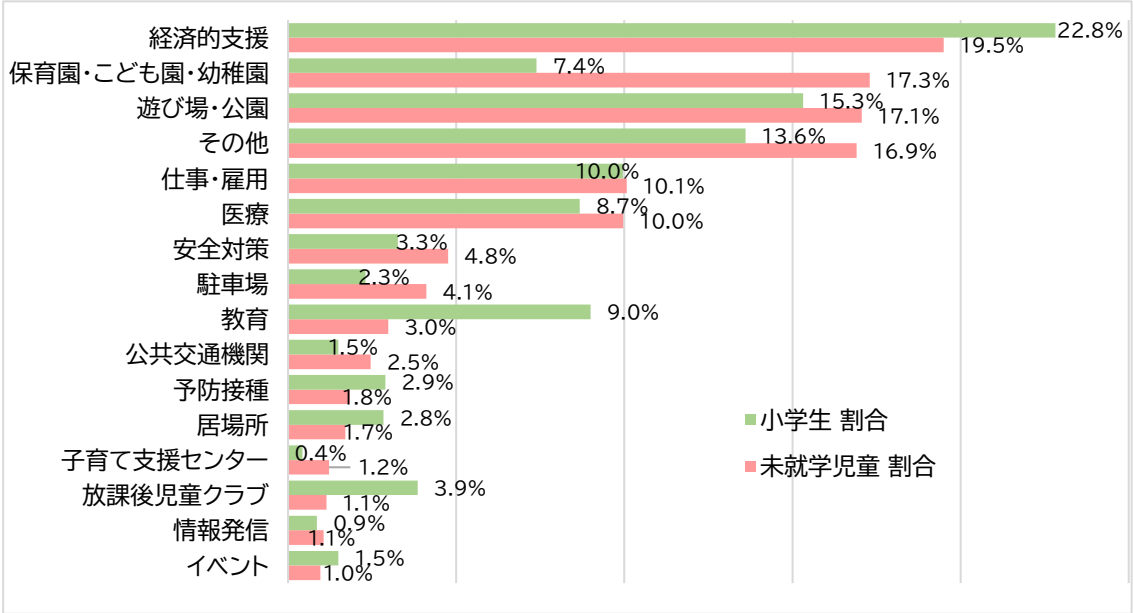
未就学児童の保護者は「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やす」が最も多く、「こども医療費の無償化」、「手当などの給付による経済的支援を充実させる」と続いており、小学生の保護者は「こども医療費の無償化」が最も多く、「手当などの給付による経済的支援を充実させる」、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やす」と続き上位3項目に変わりはありません。



(キ) 自由記述

自由記述については、未就学児童、小学生の保護者のいずれも「経済的支援」についての記述が最も多く、そのほか、未就学児童の保護者では「保育園・こども園、幼稚園」、小学生の保護者では「遊び場・公園」、「仕事・雇用」、「医療」についての記述が続いています。

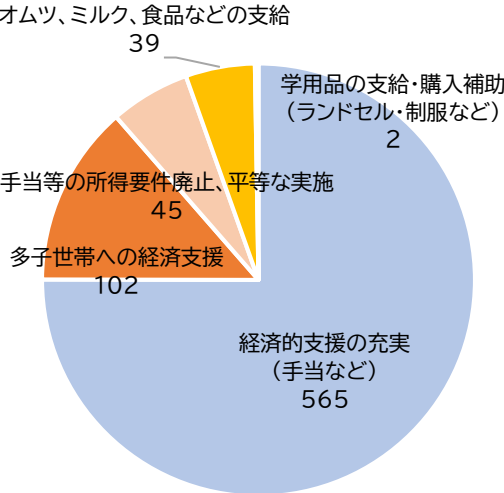
また、経済的支援の内訳は、いずれも「経済的支援の充実（手当など）」に関する記述が最も多くなっています。



	経済的支援	保育園・こども園・幼稚園	遊び場・公園	仕事・雇用	医療	安全対策	駐車場	教育	公共交通機関	予防接種	居場所	子育て支援センター	放課後児童クラブ	情報発信	イベント	その他
未就学児童	753	668	659	389	385	184	159	115	95	71	66	47	44	41	37	653
小学生	426	138	286	186	162	61	43	168	28	54	53	8	72	16	28	254
計	1179	806	945	575	547	245	202	283	123	125	119	55	116	57	65	907

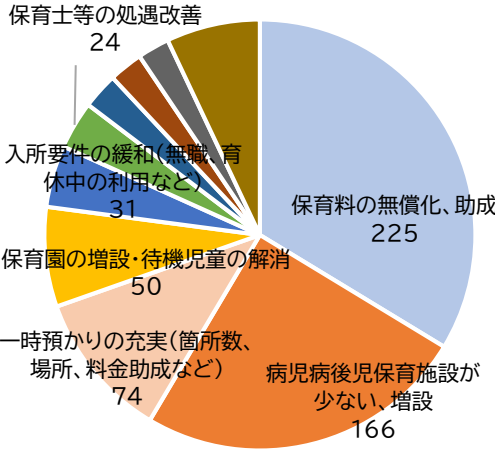
自由記述の内訳

【経済的支援】

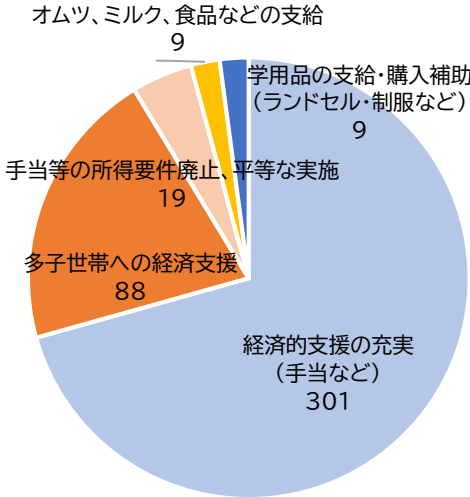
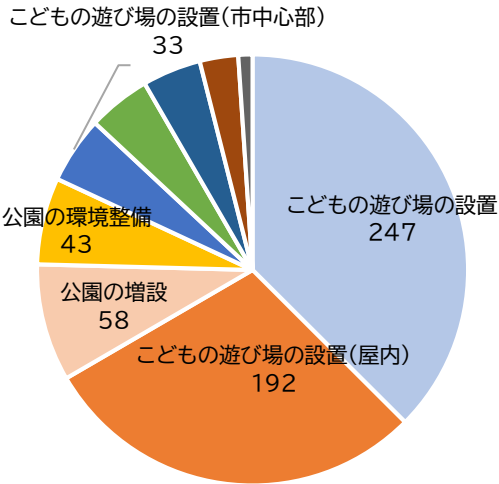


【保育園・こども園・幼稚園】

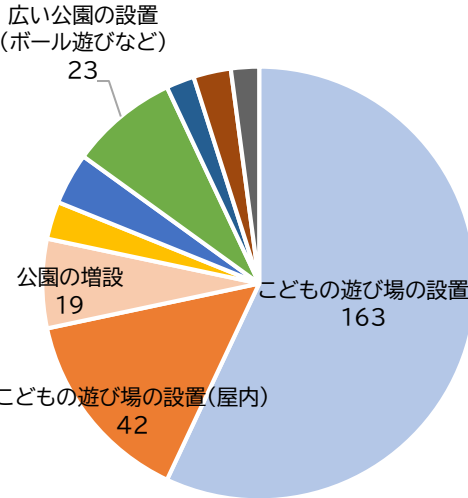
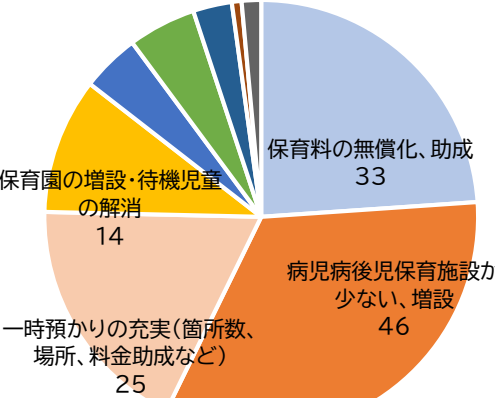
未就学児童の保護者



【遊び場・公園】

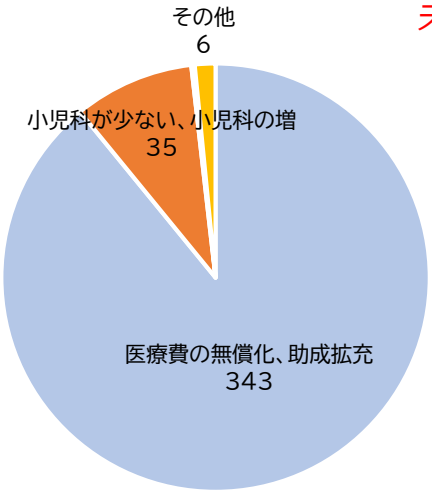


小学生の保護者

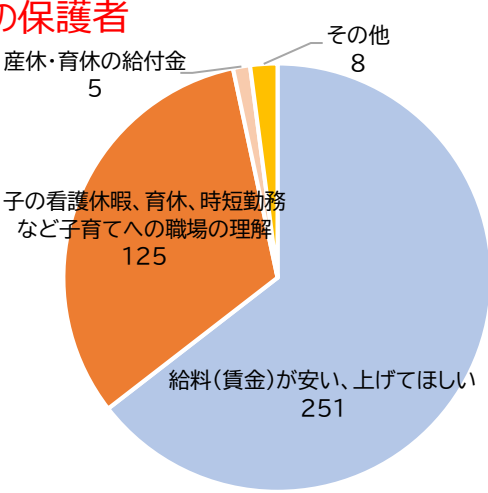


自由記述の内訳

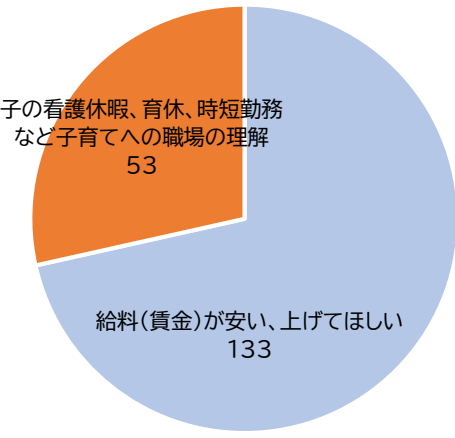
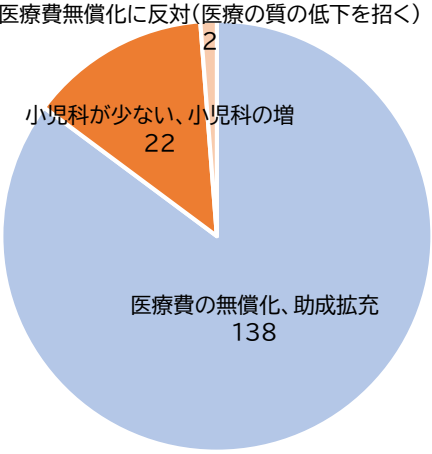
【医療】



【仕事・雇用】



未就学児童の保護者



小学生の保護者

2) 長崎市子ども計画策定に係るアンケート調査

調査対象 市内在住の小学5～6年生、中学生、高校生、18～29歳

実施時期 ①小学5年生～高校生 令和6年7月10日(水)～7月31日(水)

②18～29歳 令和6年7月25日(木)～8月23日(金)

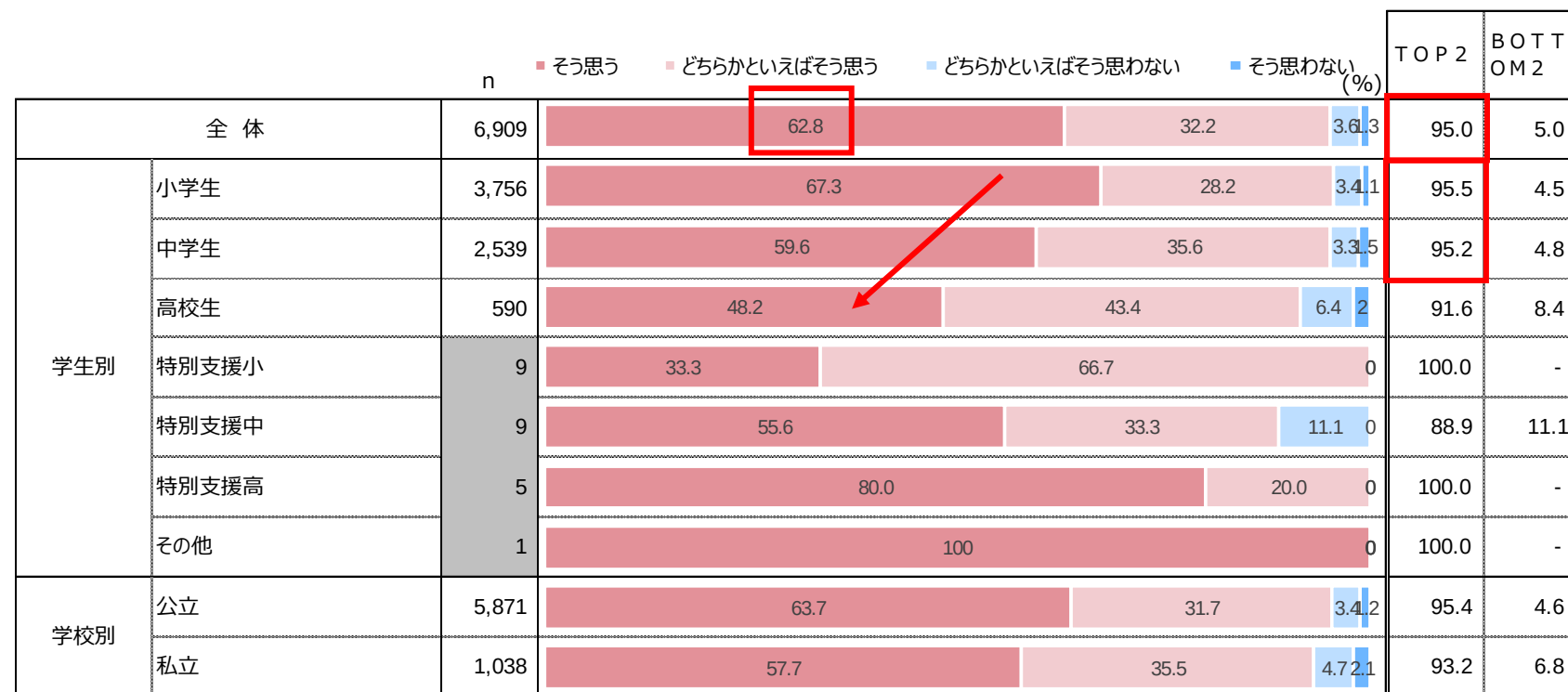
回答数 市内在住の小学5～6年生 3,765人、中学生 2,548人、高校生 596人、18～29歳 349人

(ア) 今、自分は幸せだと思いますか？(1つ選択)

【小学5年生～高校生】

全体では「そう思う」が62.8%、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると95%となっています。

学生別では「そう思う」割合は小学生は67.3%、中学生は59.6%、高校生は48.2%と学齢が上がるごとに低くなっています。



※nが30未満の時は参考値

【18歳～29歳】

全体では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると89.1%となっています。

また性別だと「女性」、未既婚別だと「既婚・離死別」が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせるとそれぞれ92%程度となっています。

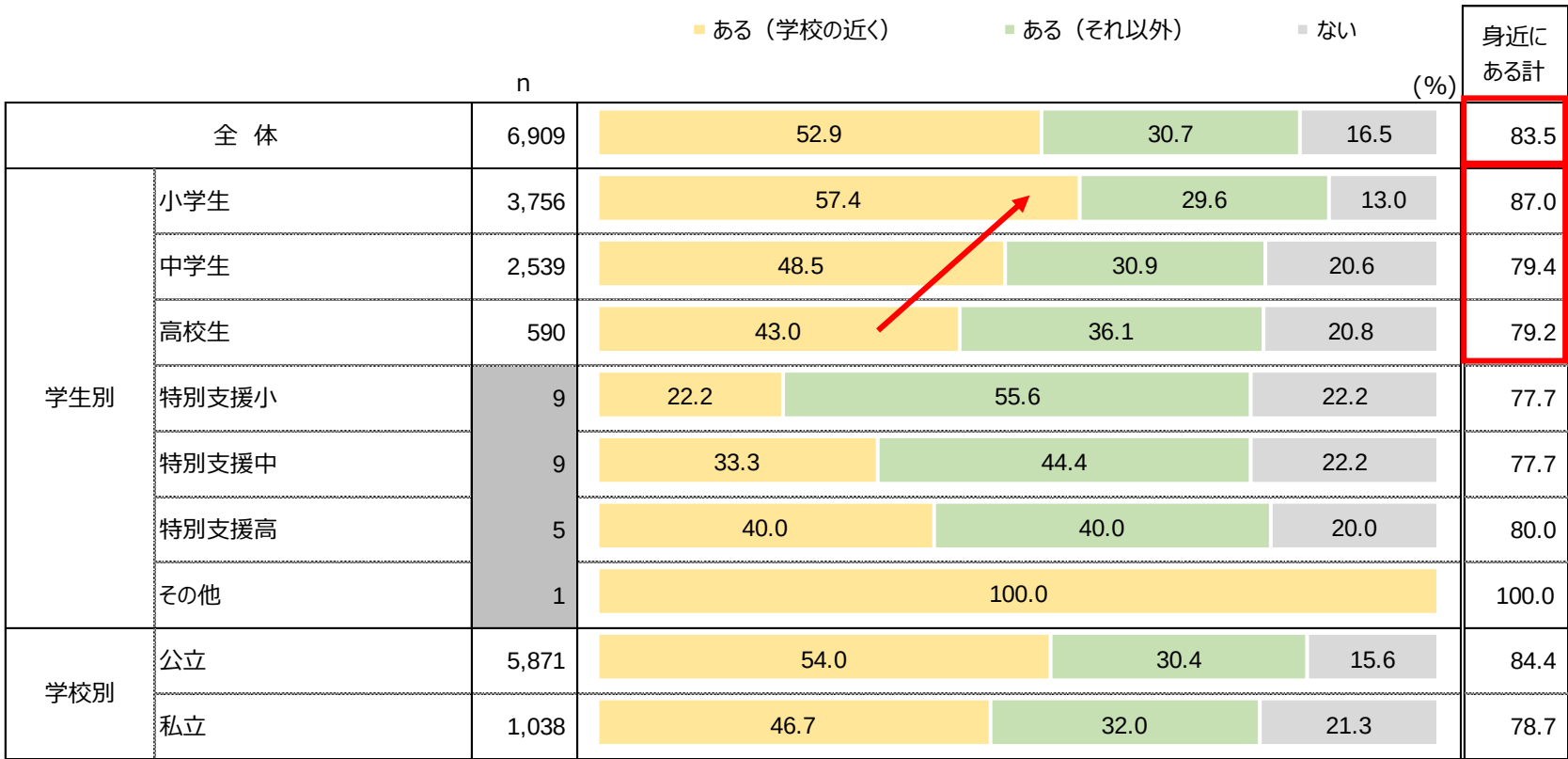
		n	■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない				TOP 2	BOTTOM 2
全 体		349	35.5	53.6	6.9	4.0	89.1	10.9
性別	男性	179	34.6	53.1	7.3	5.0	87.7	12.3
	女性	167	37.1	55.1	5.4	2.4	92.2	7.8
	その他	3	66.7	33.3			-	100.0
年齢別	18～20歳	28	42.9	42.9	10.7	3.6	85.7	14.3
	21～25歳	152	35.5	53.3	7.9	3.3	88.8	11.2
	26～29歳	169	34.3	55.6	5.3	4.7	89.9	10.1
未既婚別	未婚	251	34.7	53.0	6.8	5.6	87.6	12.4
	既婚・離死別	98	37.8	55.1	7.1		92.9	7.1
同居有無別	同居あり	236	36.4	53.4	7.2	3.0	89.8	10.2
	同居なし	113	33.6	54.0	6.2	6.2	87.6	12.4
就業状況別	学生・生徒	16	56.3	37.5	6.3		93.8	6.3
	有職者	320	34.4	54.4	6.9	4.4	88.8	11.3
	専業主婦・主夫・内職他	10	30.0	60.0	10.0		90.0	10.0
	無職	3	66.7	33.3			100.0	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い… / 5pt以上高い… / 5pt以上低い… / 10pt以上低い…

※nが30未満の時は参考値

(イ) 【小学5年生～高校生】 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身近にありますか。（1つ選択）

全体では「ある(学校の近く)」が52.9%、「ある(それ以外)」が30.7%で、「ある」を合わせると83.5%となっています。
 学生別では、小学生が87.0%、中学生、高校生がそれぞれ80.0%を切るなど、小学生と中高生で差が見られます。また、「ある(学校の近く)」は学齢が下がるほど高くなっています。

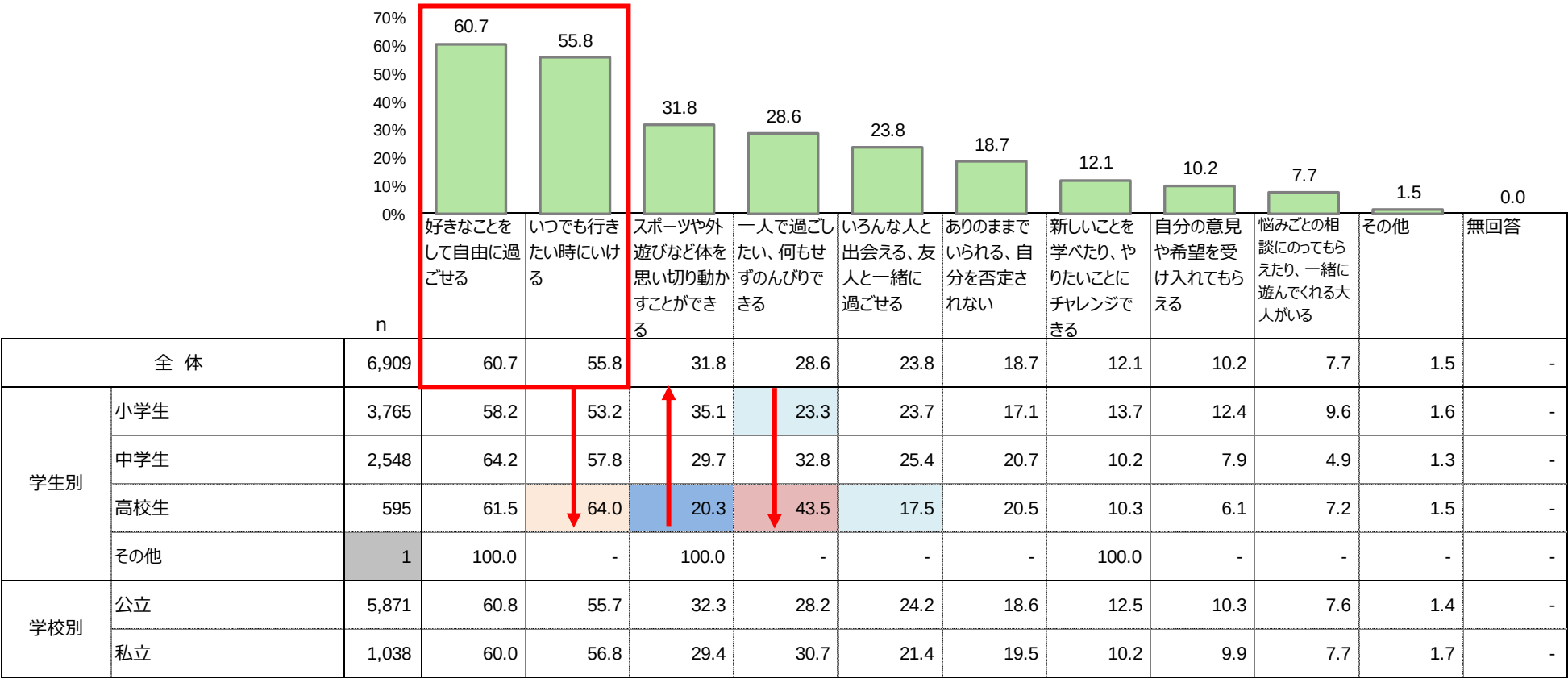


※nが30未満の時は参考値

(ウ) 【小学5年生～高校生】自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所として、あれば利用したいと思うのはどんなところですか。（3つまで選択可）

全体では「好きなことをして自由に過ごせる」が最も高く 60.7%、次に「いつでも行きたい時にいける」が 55.8%となっています。

学生別で見ると、「スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる」が学齢が下がるほど高くなっており、「いつでも行きたい時にいける」「一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる」は学齢が上がるほど高くなっています。

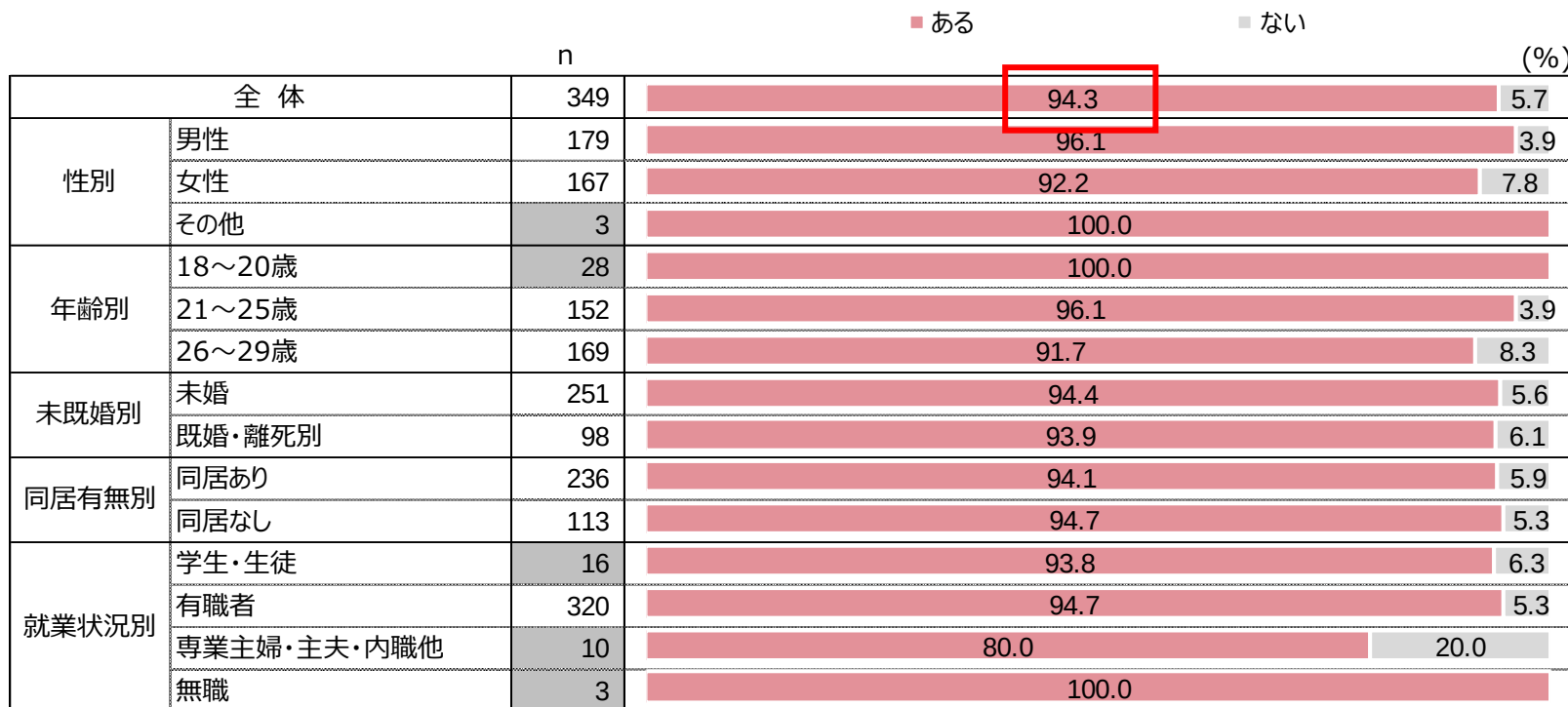


※n≥30で、全体よりも10pt以上高い・・・／5pt以上高い・・・／5pt以上低い・・・／10pt以上低い・・・

※nが30未満の時は参考値

(エ) 【18歳～29歳】 現在、あなたにとって安心できる居場所（いばしょ）はありますか。あてはまるものを選んでください。（1つ選択）

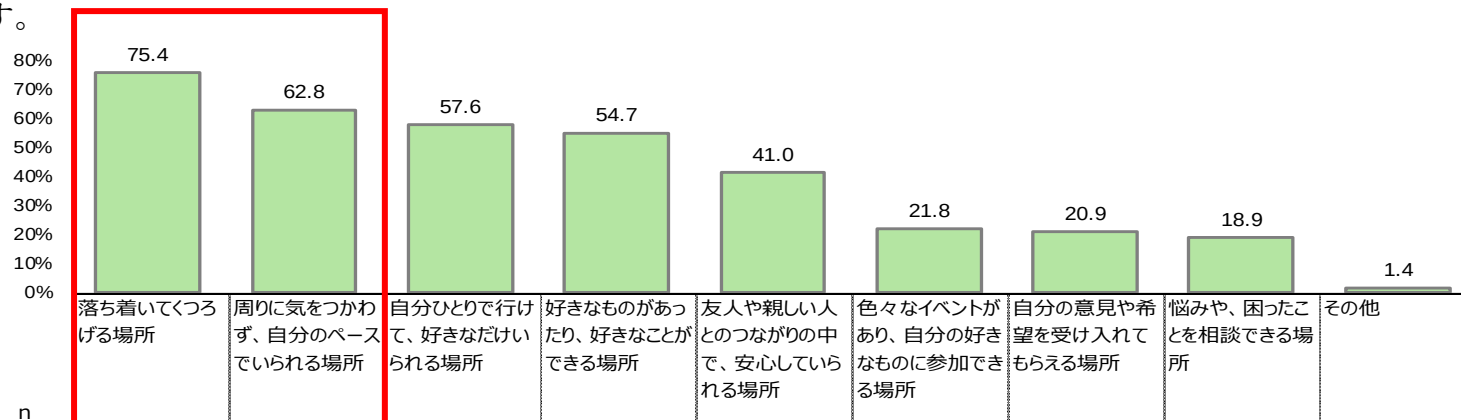
全体では「ある」は94.3%となっており、概ね居場所があり、属性間でも大きな差は見られませんでした。



※nが30未満の時は参考値

(オ) 【18歳～29歳】あなたは、どんな「居場所（いばしょ）」がほしいですか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数選択可）

全体では「落ち着いてくつろげる場所」が75.4%で最も高く、次いで「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が62.8%となっています。また、属性別で見ると「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」、「悩みや、困ったことを相談できる場所」は、それぞれ女性が男性よりも10%以上高くなっており、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」「友人や親しい人とのつながりの中で安心していられる場所」は、それぞれ21～25歳が26～29歳より、未婚が既婚・離死別より10%以上高くなっていきます。



n		全 体	349	75.4	62.8	57.6	54.7	41.0	21.8	20.9	18.9	1.4
性別	男性	179	71.5	53.6	55.3	57.0	38.5	18.4	17.9	13.4	1.7	
	女性	167	79.0	71.9	59.3	51.5	43.1	25.1	23.4	24.0	0.6	
	その他	3	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	
年齢別	18～20歳	28	71.4	64.3	71.4	67.9	35.7	25.0	35.7	32.1	3.6	
	21～25歳	152	76.3	63.2	54.6	61.2	48.0	18.4	18.4	19.1	0.7	
	26～29歳	169	75.1	62.1	58.0	46.7	35.5	24.3	20.7	16.6	1.8	
未婚既婚別	未婚	251	76.1	63.7	58.2	57.8	43.8	20.7	22.3	20.3	1.6	
	既婚・離死別	98	73.5	60.2	56.1	46.9	33.7	24.5	17.3	15.3	1.0	
同居有無別	同居あり	236	78.4	64.4	59.7	54.2	37.3	22.9	20.8	20.3	0.8	
	同居なし	113	69.0	59.3	53.1	55.8	48.7	19.5	21.2	15.9	2.7	
就業状況別	学生・生徒	16	68.8	81.3	62.5	62.5	25.0	25.0	37.5	31.3	-	
	有職者	320	75.6	62.8	56.6	55.0	41.9	21.3	20.0	18.1	1.6	
	専業主婦・主夫・内職他	10	70.0	30.0	70.0	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0	-	
	無職	3	100.0	66.7	100.0	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	-	

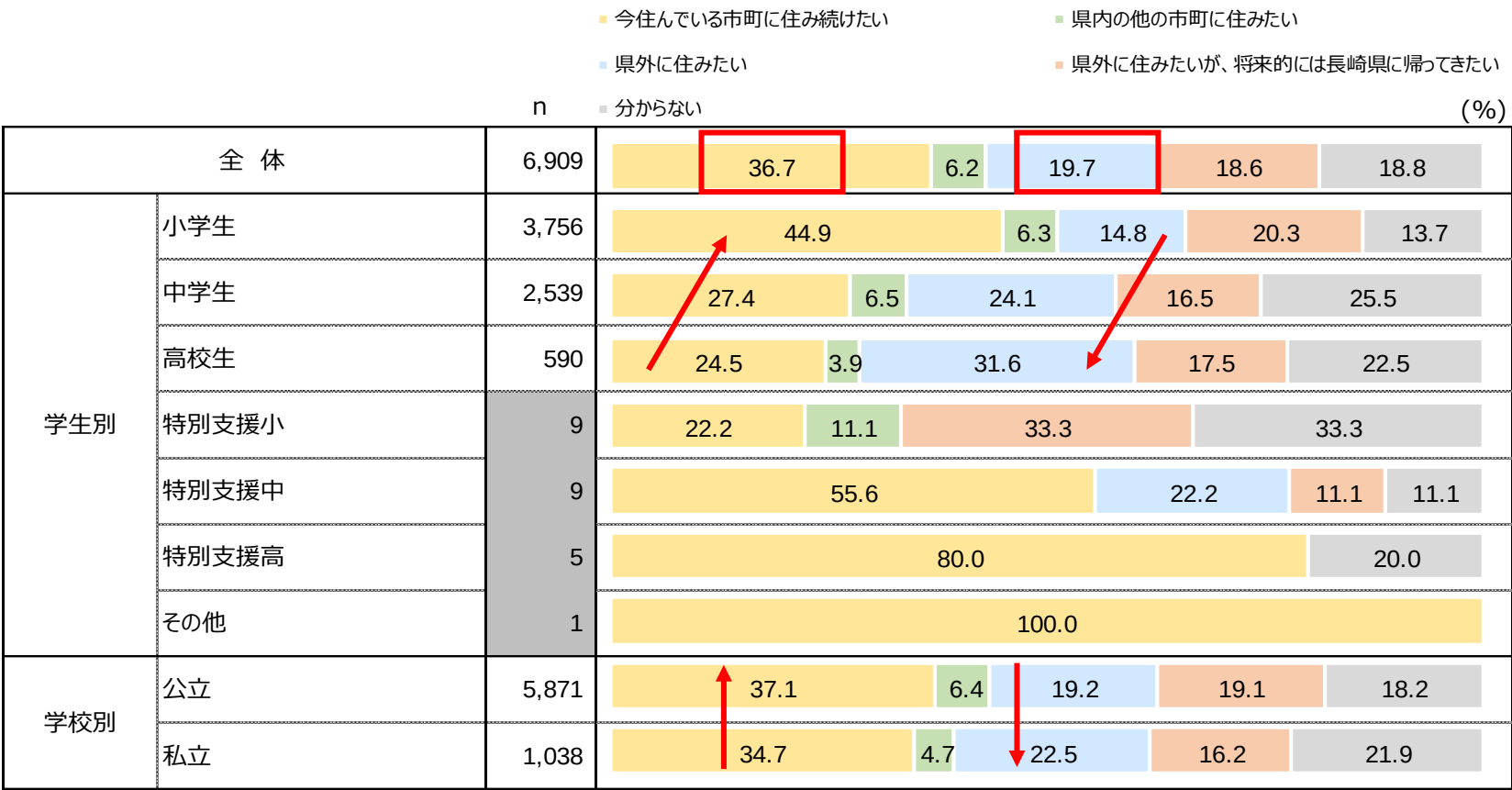
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い・・・／5pt以上高い・・・／5pt以上低い・・・／10pt以上低い・・・

※nが30未満の時は参考値

(カ) 【小学5年生～高校生】 これからも長崎県に住み続けたいと思いますか？（1つ選択）

全体では「今住んでいる市町に住み続けたい」が36.7%、「県外に住みたい」が19.7%となっています。

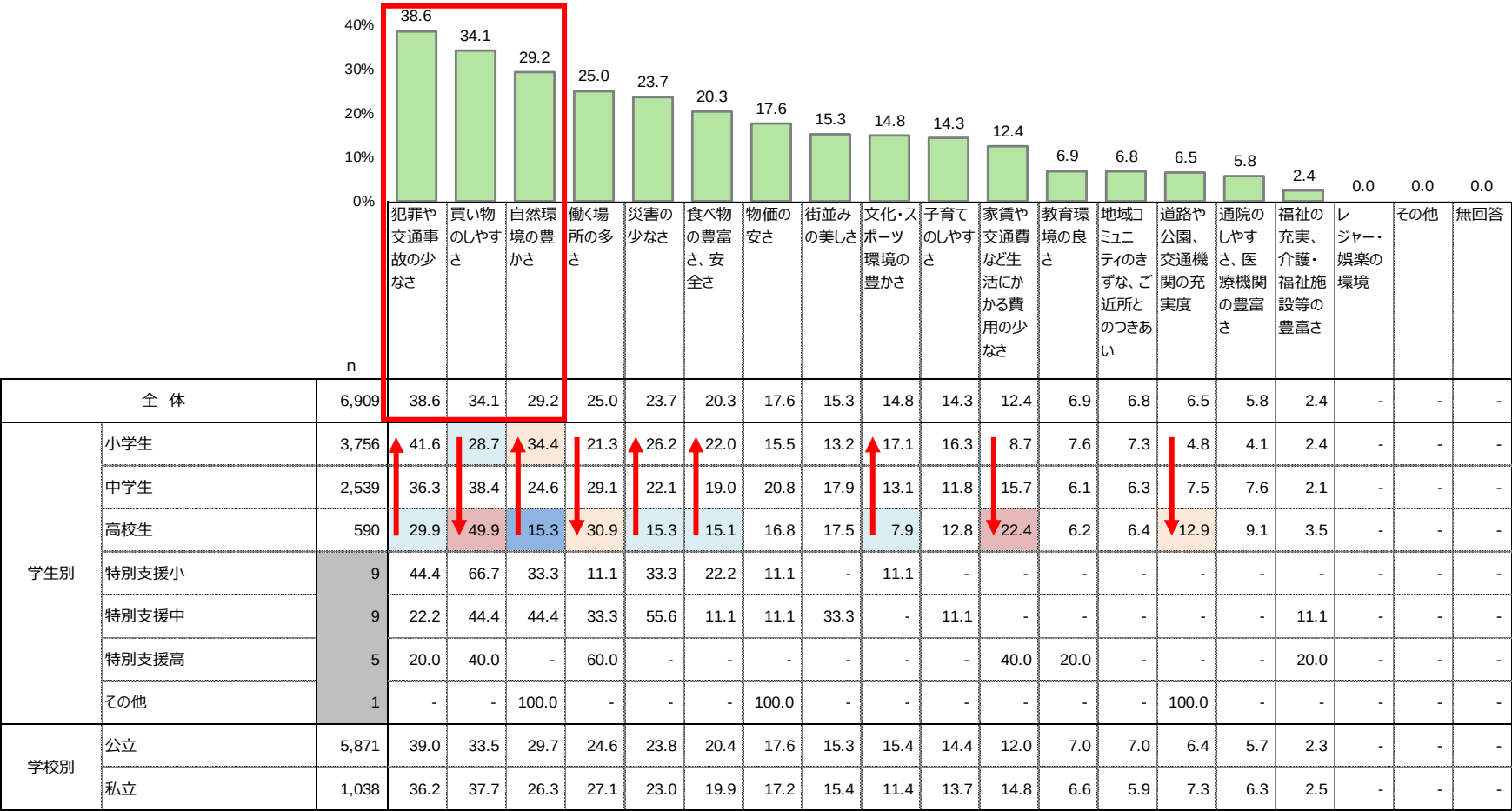
学生別・学校別では「今住んでいる市町に住み続けたい」は学齢が下がるほど高く、私立より公立が高くなっており、「県外に住みたい」は学齢が上がるほど高く、公立より私立が高くなっています。



※nが30未満の時は参考値

(キ) 【小学5年生～高校生】 将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか？（3つまで選択可）

全体では「犯罪や交通事故の少なさ」が38.6%と最も多く、次いで「買物のしやすさ」が34.1%、「自然環境の豊かさ」が29.2%となっています。学生別では「犯罪や交通事故の少なさ」「自然環境の豊かさ」「災害の少なさ」「食べ物の豊富さ、安全さ」「文化・スポーツ環境の豊かさ」は学齢が下がるほど高くなっており、「買い物のしやすさ」「働く場所の多さ」「家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ」「道路や公園、交通機関の充実度」が学齢が上がるほど高くなっています。

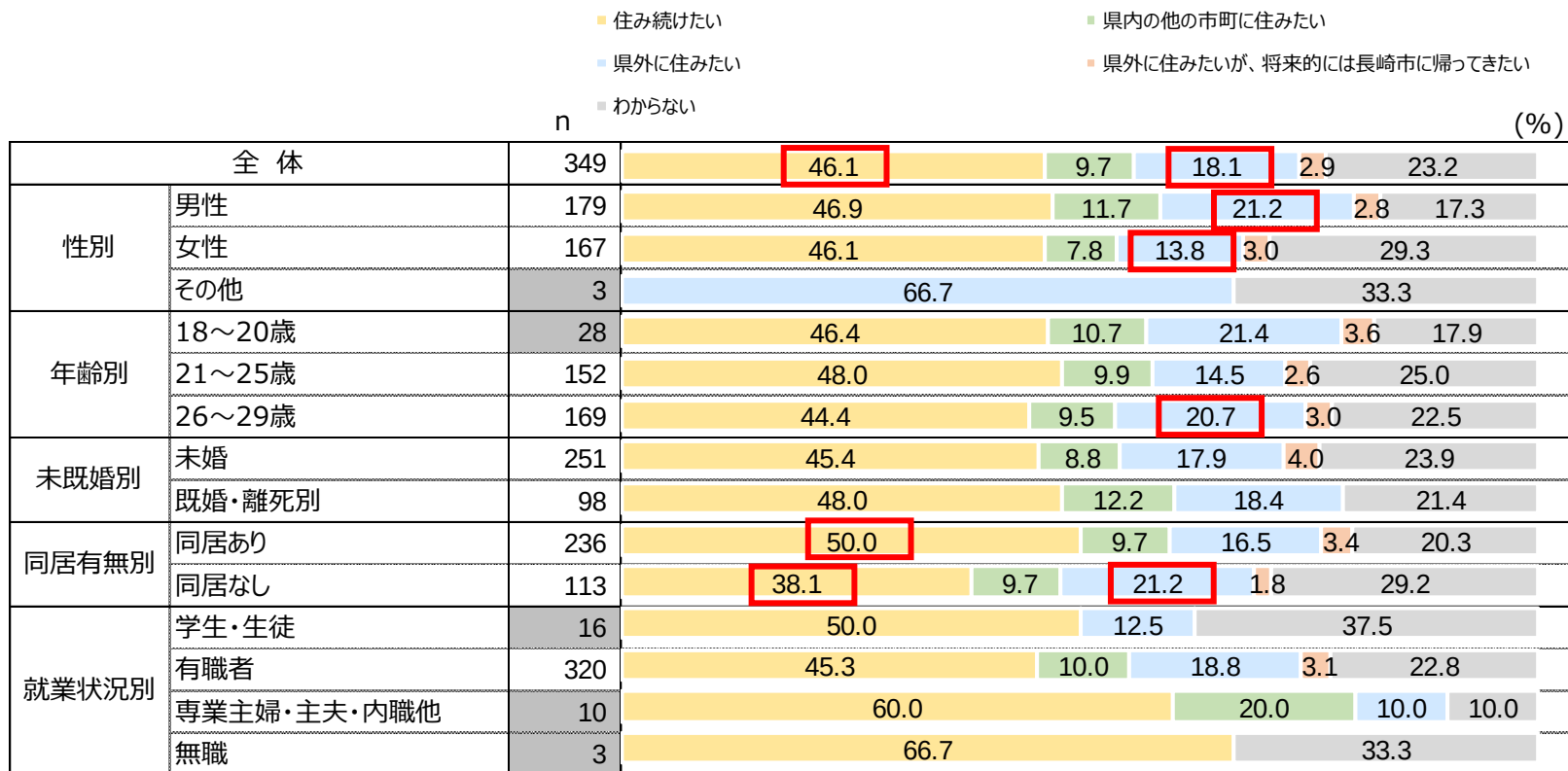


※n≥30で、全体よりも10pt以上高い…／5pt以上高い…／5pt以上低い…／10pt以上低い…
※nが30未満の時は参考値

(ク) 【18歳～29歳】 これからも長崎市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを選んでください。(1つ選択)

全体では「住み続けたい」は46.1%、「県外に住みたい」は18.1%となっています。

属性的に見ると、「県外に住みたい」が男性、26～29歳、同居なしが2割強となっており、女性が13.8%に対して男女差が見られます。また「住み続けたい」は同居有無別では同居ありが50.0%に対し、同居なしが38.1%と10ポイント以上の差が見られます。

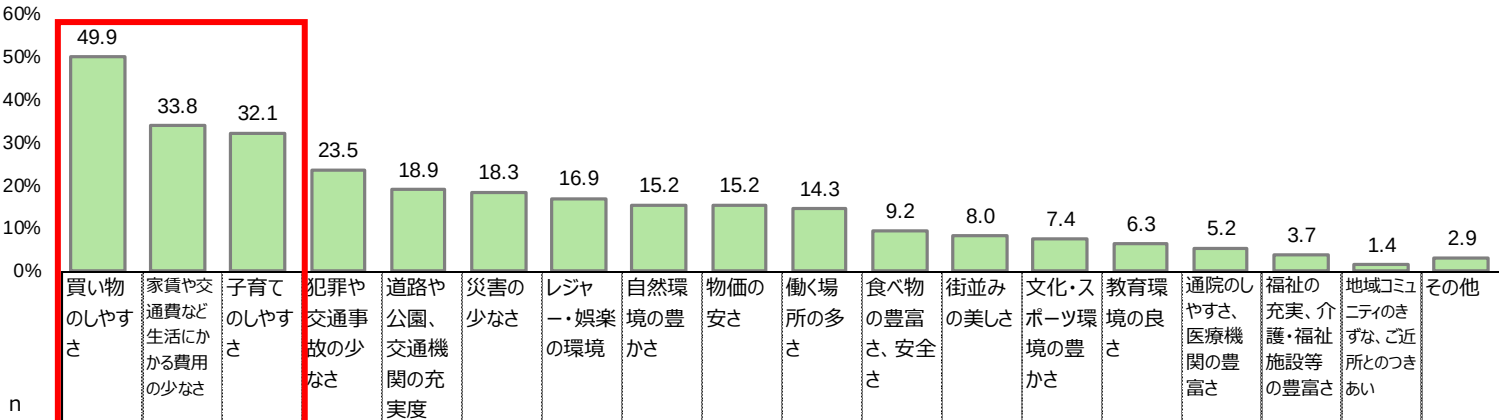


※nが30未満の時は参考値

(ケ) 【18歳～29歳】将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか。（3つまで選択可）

全体では「買物のしやすさ」が49.9%で最も高く、次いで「家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ」が33.8%、「子育てのしやすさ」が32.1%となっています。

属性別に見ると「子育てのしやすさ」は年代が高くなるにつれて割合が高くなっており、未婚 20.7%に対し既婚 61.2%、同居なしが15.9%に対し同居ありは39.8%と差が大きくなっています。また、「レジャー・娯楽の環境」は男性 22.3%に対し、女性は10.8%と男女差が大きくなっています。



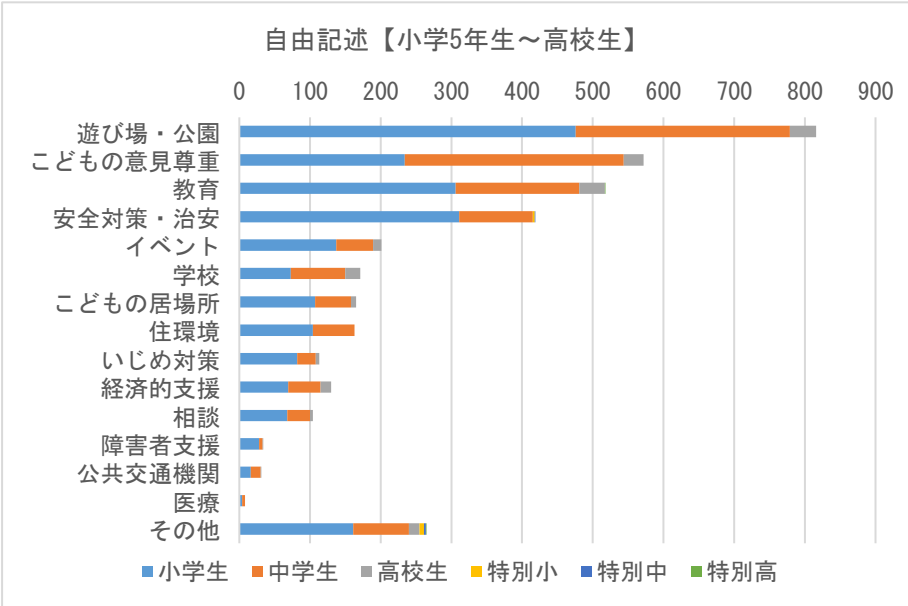
全 体		n	49.9	33.8	32.1	23.5	18.9	18.3	16.9	15.2	15.2	14.3	9.2	8.0	7.4	6.3	5.2	3.7	1.4	2.9
性別	男性	179	46.9	34.1	30.7	19.6	15.1	14.0	22.3	17.9	12.8	16.8	10.1	11.2	10.6	5.0	3.9	3.4	1.1	2.2
	女性	167	53.9	34.1	34.1	27.5	22.8	23.4	10.8	12.6	18.0	12.0	8.4	4.8	3.6	7.2	6.6	4.2	1.8	2.4
	その他	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	66.7
年齢別	18～20歳	28	46.4	28.6	17.9	17.9	17.9	14.3	21.4	7.1	28.6	10.7	14.3	3.6	3.6	3.6	7.1	10.7	7.1	10.7
	21～25歳	152	52.0	29.6	25.0	23.7	17.8	18.4	14.5	17.1	17.1	18.4	11.2	11.2	9.9	4.6	5.3	2.0	0.7	3.3
	26～29歳	169	48.5	38.5	40.8	24.3	20.1	18.9	18.3	14.8	11.2	11.2	6.5	5.9	5.9	8.3	4.7	4.1	1.2	1.2
未既婚別	未婚	251	49.4	35.9	20.7	21.5	20.3	19.9	17.5	15.9	16.3	16.7	9.6	9.6	10.0	6.0	4.0	4.0	1.2	3.2
	既婚・離死別	98	51.0	28.6	61.2	28.6	15.3	14.3	15.3	13.3	12.2	8.2	8.2	4.1	1.0	7.1	8.2	3.1	2.0	2.0
同居有無別	同居あり	236	50.0	29.7	39.8	24.6	20.3	18.2	16.9	13.6	14.4	15.3	6.8	6.8	5.1	6.8	5.9	3.4	1.7	2.1
	同居なし	113	49.6	42.5	15.9	21.2	15.9	18.6	16.8	18.6	16.8	12.4	14.2	10.6	12.4	5.3	3.5	4.4	0.9	4.4
就業状況別	学生・生徒	16	43.8	31.3	12.5	25.0	37.5	25.0	6.3	-	18.8	12.5	18.8	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	6.3
	有職者	320	50.6	34.1	32.2	23.1	17.5	18.1	16.9	15.9	14.7	15.0	8.8	8.4	7.8	5.9	5.3	3.1	0.9	2.8
	専業主婦・主夫・内職他	10	30.0	30.0	60.0	40.0	30.0	10.0	30.0	20.0	30.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-
	無職	3	66.7	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い…／5pt以上高い…／5pt以上低い…／10pt以上低い…

※nが30未満の時は参考値

(コ) 【小学5年生～高校生】自由記述

小学5年生から高校生の自由記述については、小学生と高校生が遊び場・公園、中学生がこどもの意見尊重についての記述が最も多く、次いで小学生は、安全対策・治安、中学生が遊び場・公園、高校生が教育に対する記述が多くなっています。



	遊び場・公園	こどもの意見尊重	教育	安全対策・治安	イベント	学校	こどもの居場所	住環境	いじめ対策	経済的支援	相談	障害者支援	公共交通機関	医療	その他
小学生	476	234	306	311	137	73	107	104	82	69	68	28	16	4	161
中学生	303	310	175	104	52	77	51	59	26	46	32	5	14	4	79
高校生	37	28	36	0	12	21	7	0	5	15	4	1	1	0	15
特別小			0	3											6
特別中			0	1											3
特別高			1												1
合計	816	572	518	419	201	171	165	163	113	130	104	34	31	8	265

最も多い記述 次いで多い記述

3 こども・若者へのヒアリング結果

1) こども・若者版「シンナガサキミーていんぐ」

市長と市民との双方向・対面型の意見交換の場である「シンナガサキミーていんぐ」のこども・若者版を開催し、市長とこども・若者の対話を通じて意見をいただきました。

主な内容は次のとおりです。

【小学生・中学生】

●こどもの遊び場についての意見

- ・ ジェットコースターがあるような、小学生から高校生まで思いっきり遊べる場所がほしい。
- ・ あぐりの丘は、小さい子向けであり、思いっきり遊べない。
- ・ 汽車のある公園があるとうれしい。

●交通・観光に関するアイデア

- ・ 路面電車を延伸してほしい。
- ・ L R Tなど公共交通を増やして車の移動を減らせば、観光の促進などの好影響につながる。
- ・ ロードバイクに乗るが、道路が凸凹していて危ない。

●長崎市を良くするアイデア

- ・ 猫が多いから、全国の猫好きが集まるプロジェクトをやると良い。
- ・ 長崎にしかない歴史がある。長崎の魅力を表現することが大切だと思う。
- ・ 長崎を舞台としたアニメを作る

●その他

- ・ こどもができる仕事が増えるといい。
- ・ 長崎をよく知るための勉強会をして、大人と同じように考えを提案できるようになると良い。
- ・ 障害者にも優しい社会になると良い。
- ・ 将来の夢を見つけている人が少ない。こどもがイベントを企画して前向きな考えになれる機会を増やしてほしい。

【高校生・若者】

●長崎市に欲しいもの

- ・ 他校の生徒と話す機会。
- ・ 修学旅行で東京に行ったが、都心はSNSが強い。スマホ教室に補助などするとよい。
- ・ 路上喫煙を禁止して、医療費の抑制を。
- ・ デパートが無いので、福岡に行くことが多い。
- ・ イルミネーションは若い人が好む。街なかにあると良い。若者の発想を取り入れたい。

●こどもの遊び場についての意見

- ・ 子育て家庭の意見を聞くと、遊び場がない。屋内の遊び場がない、ボール遊びができない、花火が禁止、小学校・中学校に入れない。無料駐車場のある遊び場がない。
- ・ 以前通っていた小学校の夏休みプール開放が今はない。市民プールに行っている。身近で遊ぶところがなくなっている。遊びやすい環境になってほしい。

●こども施策に関する意見

- ・ 学校でパソコンを活用した授業があるが、教科書もパソコンに入れてほしい。パソコンを含めて荷物が重く、肩こり、頭痛の原因になる
- ・ 不登校への対策として、フリースクールをコンセプトとした学習塾が増えれば、居場所づくりにもつながる。コミュニティは大事。
- ・ こどもの意見を取り入れるためにインスタライブなどを意見交換の場としてはどうか。
- ・ 就職活動について、大学からではなく高校生くらいから自己分析することを授業に取り入れたり、企業説明会などを通じて普段関わらない企業のことを知る機会があれば、選択肢が増えると思う。
- ・ 就職について、企業は採用に苦戦している。人口流出対策としてマッチングを。行政として踏み込んでほしい。
- ・ こどもを中心としたまちづくりは良いが、他都市と比べて良いと思えるかは微妙。大事なのは継続的な安心感の提供。こどもへの思い切った投資の検討を。医療費やおむつの無償化によって人口が増えた都市もある。
- ・ 県外ではリモートで働ける企業が増えていると聞く。長崎ではまだまだ少ない。行政として進めれば長崎市で働く人も増えるのでは。

計画策定にあたって	第1章
こども子育て家庭を取り巻く現状	第2章
計画の取組状況と課題	第3章
こども計画の基本的考え方	第4章
施策の展開	第5章
計画の目標等	第6章
計画の推進	第7章

●その他

- ・ 観光客は多いがリピーターが少ないと聞く。
- ・ SNSは高齢者は見る機会が少ない。広告・チラシなど活用して多くの人の目に留まる広報を。
- ・ 銅座歓楽街の空き家、空きビルを有効活用し、若者向けイベント・事業で活性化できないか。
- ・ ペットの防災に興味。SNSによるペット防災発信、避難訓練を提案したい。
- ・ 市民に長崎のことを知ってもらい、誇りを持ってもらうことが大事。盛り上げたいと思う人がいるが、行政が消極的。

4 パブリック・コメント結果

実施期間	令和6年12月27日～令和7年1月27日
意見件数	56件（24人）
意見への対応	意見を参考に、以下の修正を行いました。 ●第1章の「1 計画策定の背景」に、こどもの権利条約について説明を追記し、第5章の基本施策1の個別施策1の取組みに「こどもの権利の尊重に関する周知・啓発」を追記しました。 ●第5章の各基本施策の冒頭に、こども・若者及び子育て家庭からの意見と、意見に対する施策の考えを追記し、それぞれの意見を施策に反映する流れを表現しました。 ●第5章の基本施策1の個別施策1の取組み「こどもの社会的自立の確立のための支援」を「こどもの社会的自立を支援する取組み」に改め、概要欄に「民間との連携も図りながら」という文言を追記しました。 ●第5章の基本施策1の個別施策2の取組みに「こどもの遊び場や居場所づくりの推進」を追記しました。 ●第5章の基本施策3の個別施策6の取組み「子育て短期支援事業（ショートステイ）」の概要欄に、必要としている方に利用してもらうための幅広い周知について追記しました。 ●第5章の基本施策3の個別施策8の取組み「企業連携型奨学金返還支援」の概要欄の文言を整理し、基本施策6の個別施策1の取組みに再掲しました。 ●第5章の基本施策4の個別施策3の取組み「生活困窮世帯等のこどもへの生活支援」の取組みについて、子ども食堂だけではなく、フードパントリーなどを実施している団体を応援することを追記しました。 ●第5章の基本施策5の個別施策1の取組みに「こども・若者の自殺対策の推進」を追記しました。 ●第6章の計画の数値目標等については、パブリック・コメントまでに設定ができませんでしたが、調整が終了しましたので掲載しました。 ●第7章の1「計画の進行管理、点検・評価」にPDCAサイクルの図を追加し、こども・若者等から得た意見を参考に、既存の取組みの改善や見直し、新たな検討についての説明文を追記しました。